

# 昭和五十八年度 陵墓関係調査概要

## 陵 墓 調 査 室

### 調査の全容

三、安楽寿院陵（京都市伏見区竹田内畠町）堀浚渫工事区域の調査（桃山陵墓監区 八月実施）

担当 南智次郎・舟瀬利昭

三、宇度墓（大阪府泉南郡岬町淡輪）整備工事区域の調査（古市陵墓監区 九～十月実施）

担当 土生田純之・堀内朝保・中辻武・吉川裕己

### 〔立会調査〕

四、桃山陵墓地南側境界擁壁設置補償工事障害木除去箇所の調査（桃山陵墓監区 四～五月実施）

担当 高田慶昭・中川幸延・上村雅洋

五、桃山陵墓地南側境界擁壁設置補償工事箇所の調査（桃山陵墓監区

### 〔事前調査〕

一、桃山陵墓地南側（京都市伏見区桃山町板倉周防）境界擁壁設置補償

工事区域の調査（桃山陵墓監区 五～六月実施）

担当 笠野毅・高田慶昭・中川幸延・上村雅洋・山本忠浩・内海克巳・

杉江嘉則・竹村哲也

六、成菩提院陵（京都市伏見区竹田淨菩提院町）見張所雨落改修・掃除口改修・駐車場整備・外構柵設置等工事箇所の調査（桃山陵墓監区

八（十一月実施）

担当 舟瀬利昭

七、伏見桃山陵（京都市伏見区桃山町古城山）大広庭入口柵改修工事箇所の調査（桃山陵墓監区 八月実施）

担当 中川幸延

六、高畠陵（京都府向日市寺戸町大牧）駐車場整備工事箇所の調査（桃山陵墓監区 八月実施）

担当 鎌田喜久雄

五、狭城盾列池上陵（奈良市山陵町）鳥居建替工事箇所の調査（敵傍陵墓監区 九月実施）

担当 池谷浩行・小走公典

四、光雲寺内久邇宮墓地（京都市左京区南禅寺北ノ坊町）外構土壇・門控柱・石柵・灯籠等改修工事箇所の調査（月輪陵墓監区 九月実施）

担当 茶谷尚三・辻井忠則

三、傍丘磐坏丘南陵（奈良県北葛城郡香芝町北今市）鳥居建替工事箇所の調査（敵傍陵墓監区 九月実施）

担当 前川勲・北田健郎

二、安楽寿院陵堀浚渫・外構柵設置工事箇所の調査（桃山陵墓監区 十（十一月実施）

担当 舟瀬利昭

一、高畠陵鳥居建替工事箇所の調査（桃山陵墓監区 十月実施）

担当 鎌田喜久雄

四、越智岡上陵（奈良県高市郡高取町車木）鳥居建替工事箇所の調査（敵傍陵墓監区 十月実施）

担当 森本正哲・久保俊郎

三、般舟院陵（京都市上京区般舟院前町）電灯電話線埋設工事箇所の調査（月輪陵墓監区 十月実施）

担当 藤井良章・山田昭彦・清水孝平

二、道助親王墓（和歌山県伊都郡高野町高野山一心院谷）神明門・柵建替工事箇所の調査（古市陵墓監区 十月実施）

担当 吉川裕己・塩野孝臣

一、柏原陵（京都市伏見区桃山町永井久太郎）水道管埋設替工事箇所の調査（桃山陵墓監区 十一月実施）

担当 上村雅洋

六、清淨華院内皇族・女院墓地（京都市上京区北ノ辺町）集水枠設置工事箇所の調査（月輪陵墓監区 十一月実施）

担当 清水孝平・藤井良章・山田昭彦

五、鎌宮・寿萬宮墓地（京都市上京区北ノ辺町廬山寺墓地）門柱控柱改修工事箇所の調査（月輪陵墓監区 十一月実施）

担当 清水孝平・藤井良章・山田昭彦

担当 久保俊郎

(畠傍陵墓監区 二月実施)

三、山辺道上陵（奈良県天理市涉谷町）十号掘柵門改修工事箇所の調査

担当 中井義一・北田和夫

(畠傍陵墓監区 十二月実施)

担当 梅森康夫

三、八嶋陵（奈良市八島町）境界擁壁設置工事箇所の調査（畠傍陵墓監

担当 土生田純之・茶谷尚三・辻井忠則

区 一ヶ月実施）

担当 土生田純之・吉川裕己・中辻武

三、宇度墓整備工事区域の調査（古市陵墓監区 一ヶ月実施）

担当 土生田純之・吉川裕己・中辻武

三、宇度墓整備工事区域の調査（古市陵墓監区 一ヶ月実施）

担当 土生田純之・吉川裕己・中辻武

三、安楽寿院陵陵前石張舗装工事箇所の調査（桃山陵墓監区 二月実施）

担当 清水孝平・山田昭彦

三、成菩提院陵堀堤掃除口改修工事箇所の調査（桃山陵墓監区 二月実

担当 清水孝平・山田昭彦

三、成菩提院陵堀堤掃除口改修工事箇所の調査（桃山陵墓監区 二月実

担当 清水孝平・山田昭彦

担当 南智次郎

担当 清水孝平・山田昭彦

担当 古沢寿一

担当 清水孝平・山田昭彦

三、百舌鳥耳原中陵（大阪府堺市大仙町）中堤通水暗渠補修工事箇所の

担当 清水孝平・山田昭彦

調査（古市陵墓監区 二月実施）

担当 清水孝平・山田昭彦

担当 古沢寿一

担当 清水孝平・山田昭彦

三、古市高屋丘陵（大阪府羽曳野市古市五丁目）御押所石垣基礎補修工

担当 清水孝平・山田昭彦

事箇所の調査（古市陵墓監区 二月実施）

担当 清水孝平・山田昭彦

担当 中谷一信

担当 清水孝平・山田昭彦

三、畠傍山東北陵（奈良県橿原市洞）電灯電話線埋設工事箇所の調査

担当 清水孝平・山田昭彦

担当 清水孝平・山田昭彦

三、畠傍山東北陵（奈良県橿原市洞）電灯電話線埋設工事箇所の調査

担当 清水孝平・山田昭彦

三、畠傍山東北陵（奈良県橿原市洞）電灯電話線埋設工事箇所の調査

担当 清水孝平・山田昭彦

三、智成親王墓（京都市左京区北白川丸山町）参道石張工事箇所の調査

担当 中井義一・北田和夫

(月輪陵墓監区 三月実施)

担当 土生田純之・吉川裕己・中辻武

三、紙屋上陵（京都市北区衣笠北高橋町）排水管改修工事箇所の調査

担当 土生田純之・吉川裕己・中辻武

(月輪陵墓監区 三月実施)

三、北山陵（京都市北区衣笠西尊上院町）排水管埋設工事箇所の調査

担当 清水孝平・山田昭彦

(月輪陵墓監区 三月実施)

三、畠傍陵墓参考地（奈良県橿原市五条野町）・磐園陵墓参考地（同県

大和高田市築山）・陵西陵墓参考地（同市池田）・大塚陵墓参考地（同

県北葛城郡広陵町大塚）・三吉陵墓参考地（同町三吉）・郡山陵墓参考

地（大和郡山市新木町）・黄金塚陵墓参考地（奈良市田中町）駒形制札

の各設置工事箇所の調査（畠傍陵墓監区 三月実施）

担当 清水孝平・山田昭彦

担当 坂本誠一

担当 清水孝平・山田昭彦

担当 古沢寿一

担当 清水孝平・山田昭彦

三、磐衝別命墓（石川県羽咋市川原町）金網柵入口柱改修工事箇所の調

査（月輪陵墓監区 三月実施）

担当 今井久元

〔緊急遺構調査〕

三、恵我長野西陵（大阪府藤井寺市藤井寺四丁目）墳丘崩壊部露出遺構の調査（古市陵墓監区 十一月実施）

担当 堀内朝保・木林成嘉・山本良文

〔災害復旧立会調査〕

三、恵我長野西陵墳丘崩壊部応急保護工事箇所の調査（古市陵墓監区

一～二月実施）

担当 木林成嘉

三、鳥戸野陵（京都市東山区今熊野泉山町）背後陵墓地崩壊復旧工事箇所の調査（月輪陵墓監区 二月実施）

担当 鎌田恒雄・北野聖史・曾田誠一

三、大阪磯長陵（大阪府南河内郡太子町山田）参道復旧工事箇所の調査（古市陵墓監区 三月実施）

担当 中野順一

以上の調査のうち事前調査は、当調査室員と所管陵墓監区の調査担当職員とで調査を行い、立会調査・緊急現状調査・災害復旧立会調査は、当調査室の指示のもとに、所管陵墓監区の調査担当職員が調査に当たり、状況に応じて当調査室員も調査を行った。工事は調査結果に基づいて、当庁京都事務所工務課が遺構・遺物の保存に留意して施工した。調査による出土遺物の一部については、檜崎彰一名古屋大学教授に鑑定を依頼した。

一の桃山陵墓地の調査は、市道切下げによる擁壁設置補償工事の障害木除去の四の調査で、瓦礫の詰まつた溝状遺構が一部出土したので、遺構の性格と保存法考究のため実施した。調査の結果、傾斜地保全の石礫暗渠が密に存在することがわかつたので、京都市埋蔵文化財調査センターより協議し、切下げ完了道路との接続部の一部を除き保存するよう設計変更を行い、同埋蔵文化財調査センターの要請で、標示石標を設けた。採集遺物は、大量の瓦片に陶磁器類等、四・五の調査採集品合せ一八〇箱で、整理はまだ完了していない。

二の安楽寿院陵周堀の調査は、隣接地に統く遺構の有無と浚渫許容範囲確認のため、杉山信三鳥羽離宮調査研究所長に現地教示を得て、二箇所のトレーニング調査を行つたが、遺構は検出されず、堀内堆積層の一層目から、下駄一、瓦三片、布目瓦三片、筒瓦一片、計八点を採集した。

三の宇度墓の調査は、南側外堤内法裾濠内・外堤上部・陪冢墳丘裾の三区域の調査で、遺構は、外堤上部の一部に粘土羽金、陪冢で葺石状礫群が検出されたのみである。本調査には、遺構の鑑定を坪井清足陵墓管理委員会議委員に、工法の検討を安江朝光陵墓管理委員会議委員に依頼し、現地で指導を受けた。出土遺物は、埴輪二一片、土師器一片、陶器二片、瓦一片、計二七片。陪冢出土遺物は埴輪二〇片。

六～九の調査では遺構・遺物は認められなかつた。

二の久邇宮墓地では遺構は認められなかつたが、北・東・南側三方の土塀改修箇所から、土師質土器二四片、瓦質土器三四片、炻器四片、陶

器二〇片、磁器六片、瓦二六片、計一一四片を採集した。

二の調査では攢乱層のみで遺物もない。

三の安楽寿院陵では堀の堆積土中から、瓦一七片、陶器七片、木製品二片、漆喰一片、計二七片出土、外構柵基礎は黒褐色粘土層のみ。

三と四の島居建替箇所の調査では、前者は攢乱層のみ、後者はコンクリート製基礎坑のあることが判明した。

五の般舟院陵は傾斜地の盛土整地が判明。盛土層から土師質土器九三片、瓦質土器四片、陶器三四七片、磁器四八片、瓦四片、骨片三袋、鐵器二、硝子三、五輪塔火輪一、計五〇五が出土。近代のものも混る。

六の道助親王墓は、山腹の軟岩層を削って營建されたことが判明、出土遺物はない。

七の柏原陵では攢乱層下に赤褐色土層を認めた。

八の皇族・女院墓地では盛土層から、土師質土器四五片、陶器三四片、磁器七片、瓦八片、計九四片を採集した。

九の鎌宮・寿萬宮墓地は大量の遺物を含む盛土層で、土師質土器五八片、陶器六二片、瓦一五片、計一三五片を採集した。

十の鬼ノ姐では、掘削せずに補修が出来たので所見は得られなかつた。

十一の山辺道上陵の調査は、旧掘削範囲内の掘削で新資料は得られなかつた。

十二の八嶋陵の調査では遺構・遺物は認められず、地表下約一メートル以下には風化礫を含んだ固い地山層があつた。

十三の宇度墓の調査では、埴輪一一五片、炻器一片を採集した。  
十四の成菩提院陵の調査箇所は四層の盛土層が認められた。  
十五の百舌鳥耳原中陵の調査では、暗渠の底に粘土層を認めだが、遺物はない。

十六の古市高屋丘陵は、堤裾掘削部で表土下に砂質土・粘質土の一層を認めだが、遺物はない。

十七の畠傍山東北陵では遺構も遺物も検出されなかつた。

十八の智成親王墓は布目瓦が採集されたことがあるので、当調査室員を派遣して調査を行つた。遺構は検出されず、表層の白河砂の堆積層及び地山探索坑の第二層黒褐色砂層から瓦三七片、陶器一八片、磁器九片、土師器一〇二片、釣一、計一六七を採集した。

十九の宇度墓の外堤外法では、石垣の基礎胴木と留杭が露出、裏込礫中から埴輪一五片、陶器一片、瓦二片、計二八片を採集、胴木は一部地山を掘込んでいるが、堤体のこの部分は盛土の様である。

二十の紙屋上陵では排水管埋設溝から土師質土器四四片、陶磁器八九片、瓦器四片、瓦二片、人形一、現代のものと思われる金属製品一、硝子製品七、櫛二、計一五一が出土、参道入口の枡坑からは土師質土器七片が出土した。

二十一の北山陵、二十二の陵墓参考地七箇所、三の磐衝別命墓ではいずれも遺

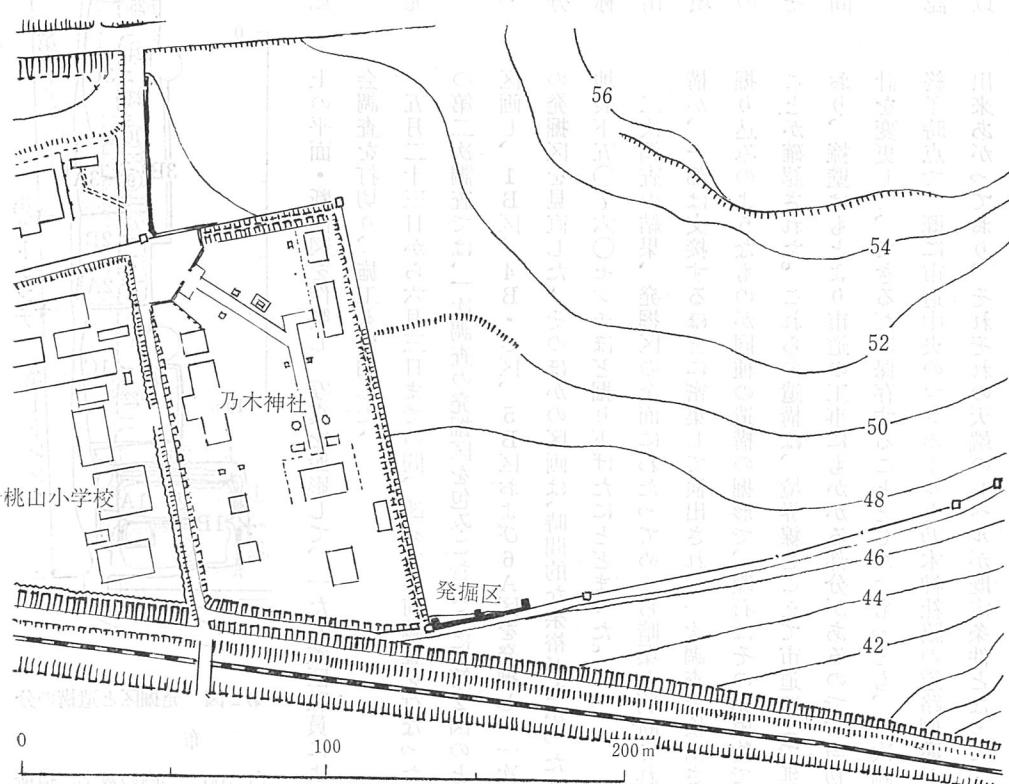
構遺物は検出されなかつた。三の恵我長野西陵の調査は、墳丘崩壊時に埴輪一二片を採集し、壠輪面の一部に埴輪底部が露出したので、状況の実測と隣接部の埴輪列有無の調査を実施。埴輪列の存在が想定されたので、三の応急の間処置を実施し、掘削土中より埴輪一二片、崩落土中より埴輪一〇片を採集した。一方、東側を廻る水路沿いに地山の掘削が実施され、毛・元は地山の掘削が大部分で遺物は検出されなかつた。

以下一・四・五の桃山陵墓地、二・三・四の安楽寿院陵、三・三・三〇の宇度墓、一〇の光雲寺内久邇宮墓地、五の般舟院陵、八の清淨華院内皇族・女院墓地、元の鎔宮・寿萬宮墓地、元の智成親王墓、三の紙屋上陵、三・三の恵我長野西陵の各調査、御墓石塔の調査の順に、調査の概要を掲載する。

(石田茂輔)

#### 桃山陵墓地南側境界擁壁設置補償工事区域の調査

調査地は、現在、桃山陵墓地の南の一画で、南にゆるやかに傾斜した樹林地である。乃木神社の裏手に当り、市道四九号線に面している。その南には、国鉄奈良線が走り、市道と奈良線に挟まれて、学校法人京都橘女子学園の高校用地がある(第1図)。当該地は、古総図(たとえば本誌第29号八五頁の第22図)によると、伏見城の内藤半弥または板倉周防守の屋敷地の南の部分に当るらしい。



第1図 発掘区の位置 (1/2500)